

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : インクカートリッジ (Y)
H086082-00
用途 : D502用インク
会社名 : ノーリツプレジジョン株式会社
住所 : 和歌山県和歌山市梅原579-1
担当部門 : 品質保証課
連絡先 : 電話番号 (073-456-3969) FAX番号 (073-456-3991)
E-mail (msds@nkc.noritsu.co.jp)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分外

人健康有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 区分外

急性毒性(吸入:気体) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 区分外

急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) 区分外

皮膚腐食性/刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分外

呼吸器感作性 区分外

皮膚感作性 区分外

生殖細胞変異原性 区分外

発がん性 区分外

生殖毒性 区分外

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分外

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分外

吸引性呼吸器有害性 区分外

環境有害性

水生環境急性有害性 区分外

水生環境慢性有毒性 区分外

GHSラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

水溶性インクの成分表（*は当社の機密情報のため開示できません）

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 ⁽¹⁾ 安衛法 ⁽²⁾)	CAS No. ⁽³⁾
水	65 - 70	対象外	7732-18-5
有機成分*	10 - 15	—*	—*
グリセロール	5 - 10	(2)-242	56-81-5
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	5 - 10	(2)-436	143-22-6
色材*	5 - 10	—*	—*
トリエタノールアミン	<1	(2)-308	102-71-6
添加剤*	<1	—*	—*

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談してください。
- 皮膚に付着した場合：水と石鹼で洗ってください。炎症の兆候がある場合は、医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合：直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。目の刺激が続くときには、医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けてください。
- 応急措置をする者の保護：特になし
- 医師に対する特別注意事項：なし

5. 火災時の措置

- 消火剤：化学消火剤、二酸化炭素
- 特有の消火方法：吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いと思われます。
- 消火を行う者の保護：必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用してください。
- 引火性：引火性はありません（9項の引火点をご覧ください）。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：眼にインクが入らないように気をつけてください。手についたインクは、水と石鹼でよく洗い流してください。
- 保護具と緊急時措置：必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用してください。
- 環境に対する注意事項：下水に流さないでください。
- 封じ込め及び浄化の方法：スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄してください。作業の際には、換気をしてください。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策：通常の取扱いでは必要ありません。
- 局所排気・全体換気：通常の取扱いでは必要ありません。

- 注意事項 : 眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにしてください。また、インクを飲まないようにしてください。
- 接触回避 : 通常の取扱いでは必要ありません。
- 安全取扱い注意事項 : カートリッジをプリンタに装着する際には、カートリッジからインクが漏れていないことを確認してください。カートリッジを分解しないでください。カートリッジを強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。
- 保管
- 保管条件 : 直射日光を避け、常温常湿で保管してください。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。
- 容器包装材料 : 適用外（本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。）

8. 曝露防止及び保護措置

許容濃度 :

製品	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV ⁽⁴⁾	OSHA PEL ⁽⁵⁾
インクジェットプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

成分	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV ⁽⁴⁾	OSHA PEL ⁽⁵⁾
グリセロール(ミスト)	設定なし	設定なし	10mg/m ³	15mg/m ³

設備対策 : 必要としません。

保護具

- 呼吸器の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 手の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 眼の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 皮膚及び身体の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観（形態、色） : 黄色液体
- 臭い : わずかな臭い
- pH : 8.6 ~ 9.6 (at 20°C)
- 融点・凝固点 : 有効データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 有効データなし
- 引火点 : 100°Cまでの測定において検出されない
(closed cup, ASTM D3278)
- 引火性 : 可燃物ではない
- 爆発範囲 : なし
- 蒸気圧 : 有効データなし
- 蒸気密度 : 有効データなし
- 比重（密度） : 1.06 (at 20°C)
- 溶解度 : 有効データなし
- n-オクタノール／水分配係数 : 有効データなし
- 蒸発速度 : 有効データなし
- 燃焼性（固体・ガス） : なし
- 粘度 : 5mPa・s以下
- その他のデータ : なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定です。
 危険有害反応可能性 : 常温では反応性はありません。
 避けるべき条件 : 一般的な貯蔵・取扱いにおいてはありません。
 混触危険物質 : 酸化剤、爆発物
 危険有害な分解生成物 : アクロレイン (CAS No. 107-02-8)
 300℃以上の高温化では、グリセロールは、アクロレインに分解します。常温では分解しません。

11. 有害性情報 労働省の有害基準⁽⁶⁾については16. その他を参照のこと

急性毒性 :

経口LD 50 ⁽⁷⁾	経皮LD 50 ⁽⁷⁾	吸入LC 50 ⁽⁸⁾
EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません	EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません	データなし

- 皮膚腐食性・刺激性 : EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。
 呼吸器または皮膚感作性 : EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。
 生殖細胞変異原性 : EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。
 生殖毒性 : EU指令 1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。
 吸引性呼吸器有害性 : 有効データなし
 慢性毒性・長期毒性 : 有効データなし
 発がん性 : IARC (国際がん研究機関) の発がん物質 (グループ1, 2A, 2B) に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。
 残留性及び分解性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。
 生態蓄積性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。
 土壌中の移動性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。

13. 廃棄上の注意

当該法規 (国・都道府県及び地方の法規・条例に従って、廃棄物処理を行ってください。
 外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物業者に処理を委託してください。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 該当しません。
 国連番号 : 該当しません。
 品名 (国連輸送名) : 該当しません。
 国連分類 : 該当しません。
 容器等級 : 該当しません。
 海洋汚染物質 : 該当しません。

15. 適用法令

- 消防法 : 該当しません。
 労働安全衛生法 通知対象物 : トリエタノールアミン (381) を含有します。
 化学物質排出把握管理促進法⁽⁹⁾ : 該当しません。
 その他 : 該当しません。

16. その他の情報

- (1) 化審法 : 化学物質の審査及び製造の規制に関する法律
 (2) 安衛法 : 労働安全衛生法

- (3) CAS No. : Chemical Abstract Service Registry Number
- (4) ACGIH TLV : American Conference of Governmental Industrial Hygienists (米国産業衛生
専門家会議) で定めたThreshold Limit Value (許容濃度)
- (5) OSHA PAL : Occupational Safety and Health Administration (米国労働安全衛生局) で定
めたPermissible Exposure Limit (許容暴露限度)
- (6) 労働省の有害基準 : 労働省通達基発第395号 (H4-7-1) 化学物質などの危険有害性試験基準及
び化学物質などの危険有害性評価基準
有害基準として : 経口毒性 : (LD 50) 500mg/kg以下
吸入毒性 : (LD 50) 20mg/L以下
皮膚刺激性 : 紅斑 2以上 (平均)
浮腫 2以上 (平均)
眼刺激性 : 角膜 2以上 (平均) 虹彩 1以上 (平均)
結膜発赤 2.5以上 (平均) 結膜水腫 2以上 (平均)
皮膚感作性 : 30%以上 (アジュバンド有り)
変異原性 : 労働省告示第77号 変異原性が認められその比活性が被験
物質1mgあたり1000以上
- (7) LD50 : Lethal Dose 50 50%致死量
- (8) LC50 : Lethal Concentration 50 50%致死量
- (9) 化学物質排出把握管理促進法 : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促
進に関する法律

<引用文献>

- ・ 労働安全衛生法 管理濃度
- ・ 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・ 米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH) , Threshold Limit Values for Chemical Substances and
Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・ 世界保健機構 (WHO) 国際がん研究機関 (IARC) , IARC Monographs on the Evaluation on the
Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

注意 : 本文書の記載内容は、ユーザーズマニュアル (取扱説明書) に指定された通常の条件下で、
製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデ
ータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さおよび安全性を保証するもの
ではありません。また、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細
心の注意が必要です。特殊な取扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。